

授業科目名	応用スポーツコーチング学特殊研究演習	授業形態	演習	授業科目区分	専門科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	金久 博昭・金高 宏文			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	国内外のスポーツ科学、スポーツコーチング学、スポーツパフォーマンス研究、トレーニング科学関連の雑誌に掲載されている文献を輪読し、特にスポーツパフォーマンスにおけるチーム差、個人差と競技の現場において採用されているトレーニングおよびコーチングの実際との関係について論ずる。また、それらの先行知見を参考に、新たなトレーニング方法、コーチング方法を考案すると同時に、その効果の実際を実験的に確かめる作業を行う。それによって得られたデータを分析し、発表を繰り返すことで、データの総括、ならびにプレゼンテーションおよび討議する能力を高める。また、自身のデータに基づき、ショートレポートを作成し、それに関するディスカッションミーティングを等して、論文作成能力の向上を目指す。さらに、履修期間中に、論文の作成・投稿を行うことで、査読者とのやり取りを実験する。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(%) 授業への取り組み状況(50%) レポート等の提出状況(50%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	1) 授業への取り組み：先行知見の理解度、プレゼンテーションの準備・ディスカッションの積極性、データ採取・分析に対する積極性、論文作成に対する執着心 2) レポート等の提出状況：先行知見に対する理解、視点・展開における論理性・新規性、投稿論文の完成度、投稿の有無				
テキスト、教材 参考書					
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)		
オフィス・アワー	メールにて随時受け付けます。				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	金久 博昭	オリエンテーション：授業概要、文献検索：要旨の作成・プレゼンテーションの仕方等			
2	"	トレーニングプログラムのデザイン：アスリートの測定と評価			
3	"	トレーニングプログラムのデザイン：ピリオダイゼーション			
4	"	トレーニングプログラムのデザイン：トレーニング効果の評価			
5	"	トレーニングプログラムのデザイン：トレーニング効果の個人差(年齢による違い)			
6	"	トレーニングプログラムのデザイン：トレーニング効果の個人差(性による違い)			
7	"	トレーニングプログラムのデザイン：トレーニング効果の個人差(競技水準・競技経年による違い)			
8	"	トレーニングプログラムのデザイン：疲労と回復			
9	"	データの採取・分析			
10	"	データの採取・分析			
11	金久 博昭 金高 宏文	データの総括・プレゼンテーション			
12	"	データの総括・プレゼンテーション			
13	"	ショートレポートの作成・プレゼンテーション			
14	"	ショートレポートの作成・プレゼンテーション			
15	"	ショートレポートの作成・プレゼンテーション			
16	金久 博昭	試験は行わない。			